

令和3年5月 定例教育委員会

日 時 令和3年5月13日（木） 午後4時～午後5時00分
場 所 役場3階 大会議室
出席者 教育長 帯刀昇
教育長職務代理者 湯澤正農夫
教育委員 鈴木ちほ 熊谷昌治
事務局 福島事務局長・清水局長補佐・寺沢社会教育係長・久保田文化財保護係長・前田こども家庭総合支援室係長・原総副園長

1、開会

2. 教育長あいさつ

4月の末に新型コロナウイルスの感染者が飯田市で出ました。感染拡大はありませんでしたが、全国では感染拡大しています。身に迫っていないので強烈的な危機感は感じられませんが蔓延予防に引き続き努めて行きたい。ワクチン接種が進み安心できることに期待しています。

3、協議・報告事項

（1）飯伊市町村教委連絡協議会の報告

職員の懲戒処分4件失職2件あった。年齢的に高い方が起こしている状況で注意喚起が必要。発達障害の生徒への暴言等の事例があり。子育ての部分休暇が30分単位で取れるようになった。主幹指導主事が6/22, 29に来校。全国学力調査5/27に実施。

（2）各係からの報告

（事務局から）

・三校教委全体職員会が5/19に中学校体育館で実施。都合がつけば教育委員も参加していただきたい。

◆学校教育係

・GIGAスクール構想の進捗状況について

1学期のICT教育の推進についての方向をICT教育推進員北村先生が資料にまとめてくれたので確認をお願いしたい。ICT教育キックオフセレモニーを5/24に実施。電子黒板の遠隔の機能を使い町長が南小で話をし、それを3校に配信。その後、生徒が配布されたタブレットを使ってみる形で行う。教育委員も参加をお願いしたい。

（湯沢職務代理）

どの学校へ行けば良いのか。

(事務局)

どこに行ってもらっても良い。拠点以南小。

(湯沢職務代理)

発信する場所だけではなく、受け取る側に行ってどんな状況か見るのを大事にしたほうが良いと思う。

(事務局)

熊谷委員は南小、湯沢職務代理は中学、教育長は北小に行ってもらい受け側の様子を見て頂きたい。

・しごと未来フェアを 5/21 町民体育館で行う。多くのブースを回りたいという声があったので各自 8 ブース回ることとした。昨年 18 社であったのが 26 社に増え、業種も幅広くなっている。

◆こども支援係

・新園舎建築の進捗状況について

新みつば保育園は、4/26 に地権者への説明を行い、農振除外の申請は同意して頂ける見込み。4/28 に近隣への説明会を行い、その中で、町の進め方や区会から情報が降りて無かったと言うご意見をいただいた。また、建物がどの様に立つのか分からない、交通安全や排水の問題に対する意見がでましたので、今日 (5/13) 2 回目の説明会があるのでその中で対応を説明しご理解を頂くようにしたい。

新吉田保育園について 7 月に建物の入札を行い 8 月には着工する予定と聞いています。新しい保育園名は「認定こども園 ばどま」に決定。

(湯沢職務代理)

みつばは今回の農振除外申請に間に合わせるんですよね。

(事務局)

土地活性化委員会の日程が決まっています。今日の説明会で難しい様であるならばそれを伸ばす形になるので、5/24 の農振除外は開催しないことになる。

(湯沢職務代理)

シナリオをいくつか考えておいたほうが良いのではないかな。

(事務局)

現時点では 24 日の農振に間に合うように進めると言う事で今日の説明会もさせていただく。今日の説明会が終わった時点で難しい様なら計画を見直す予定。

(湯沢職務代理)

区と地域の関係が良く見えていない。地区に公共施設が建てられることになれば通常では

区から地域へ情報が流れる思うが、今回は知らなかった話が多い気がする。

(事務局)

区民の中には話があったという方もいるが、コロナの関係で会議が行われず情報がうまく流れないこともあったと思う。

- ・ ICT システムの導入について

令和 2 年度末に保育園にタブレットとネット環境を整備し、保育園の ICT 化を実施主な機能は、登園後園の記録ができる、保育の記録や計画を紙からデータに置き換えられる、データで通知が送れる等ができ業務の効率化を図ることが可能。保護者の方には ICT 活用の説明を行った。質問等は今のところない。

◆社会教育係

- ・ キャリア教育の推進について

キャリア教育や地域学習に令和 3 年度の計画表のとおり力を入れていく。町の職員も地域課題を生徒と一緒に考えるように中学校全クラスに若い役場職員を各クラスの担当として配置。総合的な学習の中に入って学校だけでは分からない地域課題と一緒に考えて行く。5/19 には小学校で町長のお話を聞く事前学習の計画あり。小学校では 6 年生のみらい懇談会が中心となります。今年は南北小学校と一緒に実施。次として 6/30 に役場の職員が町づくりの説明を行い、12 月のみらい懇談会に繋げて行く予定。

- ・ 地域応援隊事業について

明日、受け入れ先との顔合わせを実施、5/20 から各受け入れ先にて活動を実施。町としては、生徒が地域を理解する事を大切に考えており良い取り組みだと感じている。受け入れ先についても、逆に生徒を応援しようと様々な考えで受け入れ準備をさせていただいており、良い関係が出来ていると感じる。この様な事業がキャリア教育にも繋がって行くと考える。

- ・ 高森町魅力発見町あるきについて

以前は、柿の里広場として講演会を実施していましたが、講師を呼んで学ぶと言う形ではなく、実際に町歩きをすることで大人の皆さんへも町を知ってもらおうということで計画をした。子どもたちは地域を学ぶ機会があるので、是非大人の方や転入してきた方に高森町に興味を持っていただく機会としてもらいたい。

- ・ 天白峡ほたるまつりについて

今年度は、6 月 19 日(土)に園児の遊戯、小学校のほたる太鼓を実施。また、ほたるウィークとして鑑賞期間をもうける。

4、その他

(熊谷委員)

高森は柿とカヌーのまちと言っているが羽根田選手を知らない子も多いと思う。子どもにカヌーの体験させる機会を考えて頂きたい。また、北信越大会を子どもに見せてあげたいのでその機会を考えて欲しい。

(事務局)

高森町はカヌーの町ということは伝わっていないのが現状だと思いますので 2028 年の長野国体開催に向けて伝える企画を考えて行きたい。体験は、高森町カヌークラブで行っている。

(熊谷委員)

参加者が少ないみたいなので多くの子どもが参加できるよう考えて欲しい。

(湯沢職務代理)

新型コロナウイルスの変異株がすごい、対策は去年と同じでよいのか。

(事務局)

中学校での経験を活かし危機管理を行っている。この地域は現在レベル3ですので、現況を把握しながら対策を検討していきたい。職員は県外にでた場合は2日休んで抗原検査を行うようにしており他よりも危機管理は高くできている。

(湯沢職務代理)

教育員会と学校が話し合いながら引き締めて危機管理を行って欲しい。